

第2節 使用済み製品の再使用（リユース）の推進

リデュースに向けた取組を実施した上で、購入等した「もの」は、できるだけ廃棄物として排出しないように長く使用し続けることが大切です。

リユースとは、一度使用された「もの」を再び使用することであり、形状をそのまま使用するため、リサイクルに比べ、一般的に新たなエネルギー消費や資源の投入が少ないとされています。

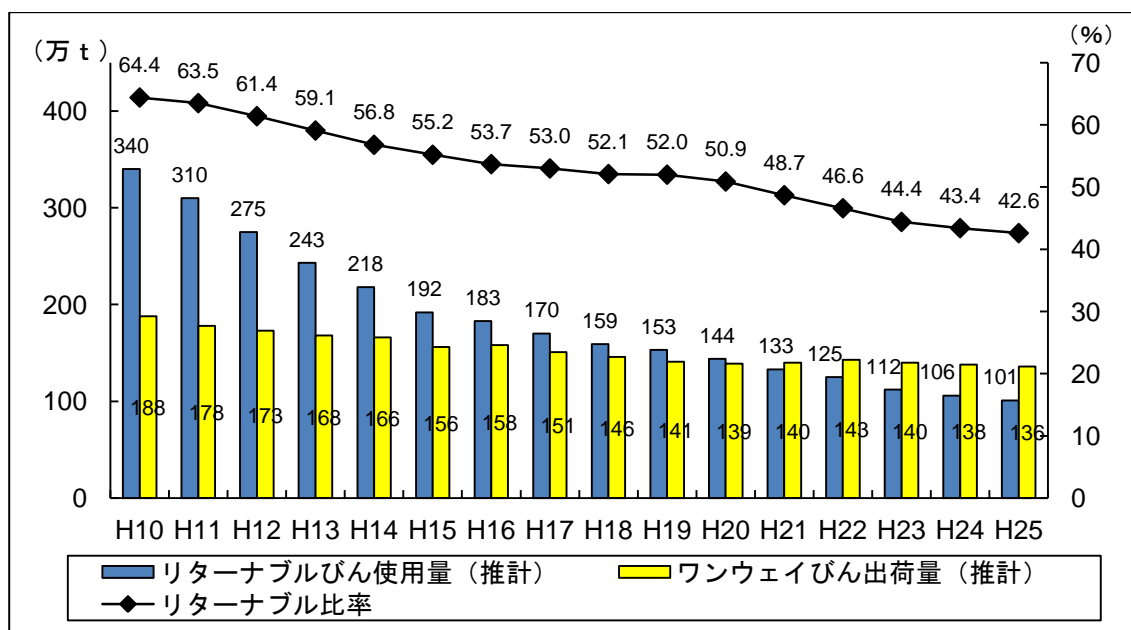
また、リユースの取組は決して珍しいものではなく、日々の生活の中に溶け込んでいるものも多くあります。

1 リターナブル容器等のリユース

(1) リターナブル容器

【現状と課題】

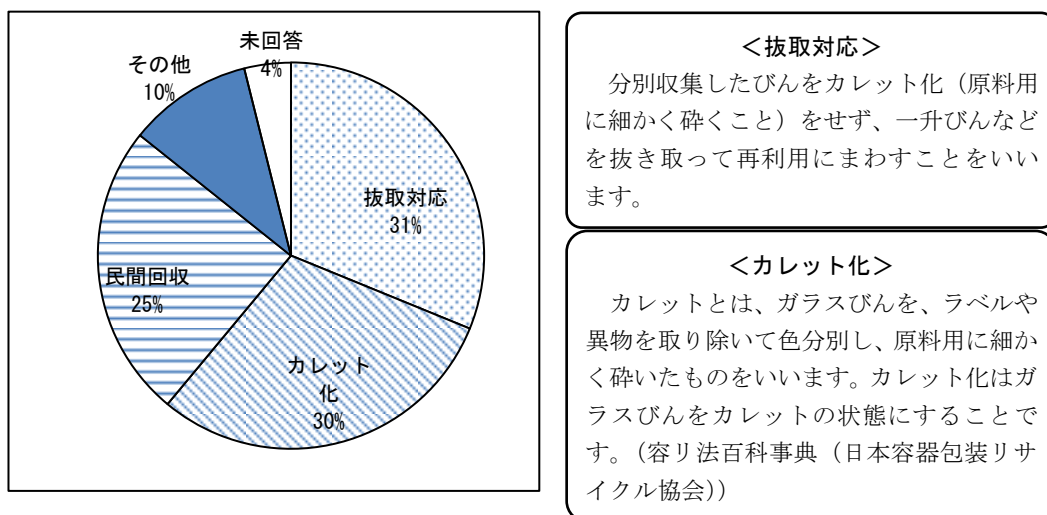
- 一般的に、ビールびん、一升びん、牛乳びんなどのリターナブル容器を繰り返し使うことは、環境への負荷を少なくします。中でも、長野県における学校給食用牛乳びんの使用率は約95%と、全国平均の約24%を大きく上回っています。
- ビールびんの回収率は95%以上となっていますが、アルミ缶等の利用や使用済みびんの返却・回収に手間がかかることなどにより、消費者や生産者がリターナブル容器の使用を控えるようになり、使用量及び利用率は減少傾向にあります。



(出典：ガラスびん3R促進協議会)

図4-2-1 リターナブルびんの利用率（全国）の推移

- ・ 回収方法は、販売店に返却すると保証金が戻ってくる「デポジット（容器保証金）制度」の導入のほか、市町村での回収、選別がありますが、リターナブル容器の抜取対応を行う市町村は少ない状況です。



（平成26年度市町村状況調査（資源循環推進課））

図4-2-2 リターナブルびん抜取状況

【施策の展開】

- ・ 環境にやさしいリターナブルびんの利用・返却・回収・再利用が図られるよう周知を図ります。
- ・ リターナブル容器の利用が図られる仕組づくりについて、県内企業と研究します。

《ある日のクルるん（ごみステーション当番編）》

分別がめちゃくちゃ！
まだまだ使えそうなものまで入っている！

リユース	リサイクル
 酒屋さんや、自治会・学校の資源回収へ持っていけばリターナブルびんとしてリユース！	 雑紙も分別して出せば、再生紙にリサイクル！
	 草や枝葉は、堆肥化して緑のリサイクル！

まだ使えるものはリユース、資源はリサイクル！
可燃ごみの量も減って、ごみ出しも楽チン！

※お住まいの市町村によって、分別や回収方法が異なりますので、市町村のごみカレンダーなどでご確認ください。

(2) リユース食器

【現状と課題】

- ・ リユース食器は、使い捨てのライフスタイルを見直し、ものを大切に使う心を伝えるリユースの代表的な取組として着目されています。
- ・ 食に関するイベント、スポーツや音楽イベント、学園祭、地域のお祭りなど、食事や飲み物を提供する多くのイベントにおいては、準備、片付け等の利便性から、使い捨ての皿、コップ、箸、スプーン等の食器が利用されています。
- ・ これらの使い捨ての食器は、イベントが終わるとそのまま廃棄され、ごみとなってその多くが焼却されることとなります。
- ・ 一方、近年は、これらの使い捨ての食器の使用を見直し、使い捨てることなく何度も使用できるリユース食器の活用により、ごみの排出を減らす取組が行われています。
- ・ リユース食器は、事業者等が責任を持って食器を衛生的に管理する必要があります。
- ・ リユース食器の貸出をコーディネートする全国的なネットワーク組織もあります。

2 各主体によるリユース

使用済み製品のリユースを推進することで、一般にはその製品の長期使用・長寿命化につながります。リユースしても、いつかは廃棄物として排出されることとなりますが、製品あたりの使用年数が長くなることで廃棄物の発生量は減少することになります。

また、使用済み製品のリユースを推進することで、温室効果ガス排出量の削減にもつながります。

使用時にエネルギーを消費する電気製品等については、省エネ性能の向上によって温室効果ガス排出量の削減につながらない場合もありますが、製品のライフサイクルで考えると、使用年数が長くなることによって、新たに製品を製造するために投入される資源が抑えられ、製造から廃棄に至る過程において排出される温室効果ガスの削減につながります。

【現状と課題】

(1) 身近なリユース

- ・ 家庭等から排出される使用済み製品等のリユースを促進することは、廃棄物の発生量、処分量の削減につながり、廃棄物の収集運搬・処理費用等の低減、最終処分場の延命化につながることが期待されます。
- ・ 書籍、衣類、家具、家電等の使用済み製品のリユースは、リユースショップやインターネットオークションなどで行われていますが、営利の要素があるため、値段が安いものは市場での取引になりにくいこと、都市部に比べて人口が少ない地方においては、リユースショップが少ないことが課題と考えられます。
- ・ リユースの取組は、自らが再使用する場合を除いて、リユース製品の渡し手である提供者と引き取り手である利用者の両方が必要なため、農村部よりも人口密度の高い都市部において普及しているとされています。
- ・ 新製品の所有を前提とするのではなく、中古品の利用や製品の共有も日常生活の中で普通のこととして受け入れていく意識の醸成も必要です。
- ・ リユースイベント、フリーマーケット、不用品掲示板など、住民同士で製品を持ち寄り、受け取るような機会が必要です。
- ・ リユースのさらなる促進のためには、リユースの普及・啓発、住民の意識の醸成、リユース製品の提供者と利用者の増加、修理すれば利用できる製品のための修理場所の増加、リユース製品に係るマーケットの拡大等が必要です。

【家庭等におけるリユース例】

- a テーブルの汚れ拭きは、ティッシュではなく、ふきんを利用
- b 裏面が印刷されていないチラシ等をメモ用紙として利用

- c レジ袋の繰り返し利用
- d シャンプー、リンス等の日用品やボールペンの芯等の文具におけるリフィル（詰替え、補充用の物品）製品の利用
- e ふとんの打ち直しによる繰り返し利用

(2) 市町村の取組等

- ・ リユースを促進し、住民に対してリユースという選択肢を提供することは、住民サービスの充実とともに、不法投棄の防止、削減にもつながっていくことが期待されます。
- ・ 家庭で不要になった陶磁器やガラス食器類を回収し、無料で配布し、リユースに向かないものは、破碎してリサイクルに回す取組をしている市町村もあります。
- ・ 市町村がリユース事業に関わる場合には、リユースが可能なものかどうか見極められる人材の確保、保管スペースの確保、需給バランスの調整が必要となります。
- ・ リユースの情報交換の場が少ないため、広報誌やホームページでの広報等が必要となります。
- ・ 県外の市町村においては、リユース食器を使うイベントに対して支援する市町村や、学校給食で使われていた食器を貸出し用のリユース食器として活用する市町村もあります。
- ・ まだ使用できるものが粗大ごみとして出されることもあるため、粗大ごみからリユース品を選別し、リユース事業を補完する市町村もあります。持ち込まれた粗大ごみからリユースすることが可能なものを選別し、事業者に販売したり、直接、希望する住民に販売・譲渡したりしています。

<<トピックス 13：南信州広域連合におけるリユース品の展示、引き取り>>

南信州広域連合の桐林リサイクルセンターでは、住民に再使用が可能なもの（木製家具・雑貨・衣類・本）を持ち込んでもらい、センターに展示し、センターを訪れた人が10点まで無料で持ち帰ることができます。



リユース品の展示の様子

<<トピックス 14 : 「エコサポートすざか」の運営等>>

須崎市女性団体連絡協議会は、9つの女性団体から構成され、女性団体が身近なところから環境問題を考えるためにスタートし、リユースをはじめとした次の活動を行っています。

- ・ “もったいない”の発信

リユースできる衣類と食器の回収・提供、毎週土日に資源物の回収、ダンボールコンポストの講習会、マイバッグ持参の啓発などを行っています。

- ・ もったいない市の開催

年1回、リユース品のバザー・フリーマーケットなどを行っています。

- ・ エコ探検隊

小学生を対象とした環境学習を夏休みに行っています。



リユースできる衣類の提供の様子

<<トピックス 15 : 松本市における子ども用品のリユース>>

松本市では、家庭で使用しなくなった子ども服、ベビーカー、チャイルドシートなどの育児・子ども用品を無料で回収し、月に1回程度開催する配付会で、希望者に無料配付を行う「松本キッズ・リユースひろば」を実施しています。



配付会の様子

<リユースショップ>

リユースショップとは、中古品を取り扱う店舗のことで、「リサイクルショップ」とも言われています。条件に合えば、リユース品（中古品）として買い取ってくれます。リユースは、環境に優しく、家庭の財布にも優しい取組です。リユースショップを賢く、上手に使いましょう。

(3) 地域・職場の取組等

- ・ リサイクルより優先順位の高い2Rの取組がより進む社会経済システムの構築が必要とされており、リユースについては、リユース製品が広く活用されるとともに、住宅、自動車、書籍等のように、他の製品に係るリユース製品のマーケット等の形成や、リユース製品の提供者と利用者がリユース製品をやりとりすることができる場の形成が求められます。

- ・ 県内の様々な職場においては、以下のような取組をそれぞれの実情に応じ工夫しながら行っています。
 - a 使用済み封筒の再利用
使用済みの封筒を、組織内でやりとりする際の往復用の封筒として、再利用します。
 - b 不用品の再利用
不用品が生じた職場から、当該不用品の利用希望の有無について、組織内にメールを配信するなどし、希望する職場に譲渡し、当該職場で利用します。
 - c 社内食堂等のリユース箸の使用
社内食堂等において、洗って何度も繰り返し使用できるリユース箸を使用します。
 - d 使用済みの裏紙の利用
使用済みの資料やミスコピー等で、裏面が印刷されていないものを、印刷用紙として利用します。
 - e マイカップ・マイ箸・マイボトルの利用
リデュースにもつながりますが、マイカップ等を職場に持参し、利用します。

【施策の展開】

- ・ 研修会等の機会を活用し、身近なリユースの取組例を紹介するなどしてリユースの周知を図り、多くの主体において、様々なリユースが行われるよう普及・啓発に努めるとともに、課題等について市町村等とともに研究します。
- ・ 市町村は、リユースの必要性、リユースイベント等の情報について、広報等により周知を図り、リユースの普及に努めるものとします。

<<トピックス 16：茅野市茅野環境館におけるリユースの取組>>



おもちゃ病院での修理の様子

茅野環境館は、リユース・リサイクルを中心とした情報・交流拠点、環境分野の市民活動拠点施設として茅野市が設置し、NPO法人エコタウンちのが運営し、リユースをはじめとした次の取組を行っています。

・ おもちゃ病院

NPO専属のおもちゃドクターが、IC基盤の故障など修理不可能なものを除き、壊れたおもちゃを修理しています。(H25.11～H27.7までの修理実績 持込数：370個、修理数：330個、利用者数：320人)。

・ リサイクルショップ

ベッドやタンスなどの大型家具、衣類、食器、雑貨などを無償で引き取り、安価で販売しています。

・ チャイルドシートのレンタル

市内在住者を対象に、無料・無期限でチャイルドシートをレンタルしています。(H26年度の貸出実績：102台)

・ ゆずりあおう

譲りたい方・譲ってほしい方の品物の状況をホームページに掲載し、仲介しています。

<<県民の皆様には：～リユース～>>

- ・ 繰り返し使えるリターナブル容器の利用・回収に協力しましょう。
- ・ イベント等において、リユース食器を利用しましょう。
- ・ 詰替え可能な製品を利用しましょう。
- ・ マイ箸やマイボトルを利用しましょう。
- ・ リユースショップを利用しましょう。
- ・ ものを大切にし、できるだけ繰り返し使用しましょう。
- ・ 捨てる前に、もう一度、何かに使えないか考えてみましょう。

